

れた。

本町で最重要路線であるのは、宇和島～城辺線で、昭和31年に国道2級線の指定を受け、同37年5月には1級国道に昇格した。これの整備について具体的なものとしては次のようなものがある。

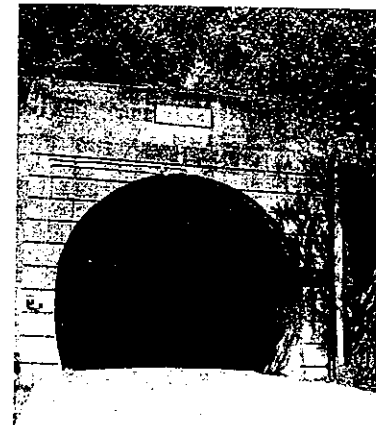
① 松尾隧道の開通

松尾トンネルは昭和26年開通・延長400m・2車線のトンネルで、この開通にともなって道路も改修整備せられ、かつて酷道といわれたこの道も、今はバスで15分で越せるようになり、昔は30分でヒヤヒヤの思いで越したのとは夢のような違いである。高田岩松間も幅員が広がり、付替えが行われて往時の様相とは変った。

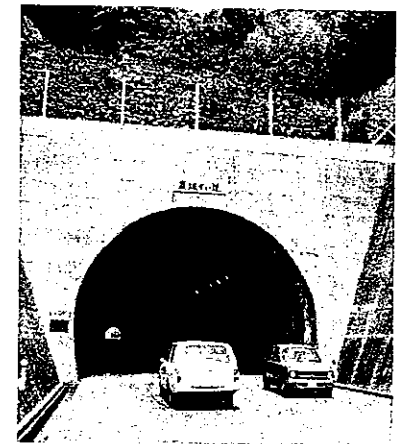
② 津島大橋の架設と道路付け替え

国道が岩松に入る時、岩松大橋を渡って町中を通っていたものだが、家並みが建てこんで路面拡張が困難なため、これをやめて岩松川右岸堤防を通すことになり、町庁舎前を通って川口に津島大橋を架設し、昭和38年から川添い道路を走るようになった。

さらに、これは芳原川の右岸堤防添いに走り、保場川にいたって部落添いに走って南下し、高岡から真直ぐに嵐坂に至る。



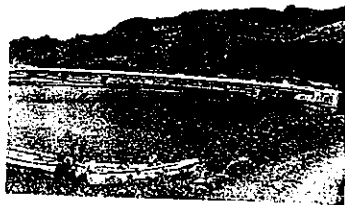
松尾トンネル



嵐トンネル

③ 嵐坂トンネルの開通

これより先、嵐坂はくねくねと嵐から左側の山をめぐる畑地にする道路があったが、これによると道程も随分遠くなっていたのであるが、旧道嵐越えの根もとにトンネルを通して嵐につないだのが昭和18年で、これで畑地～下灘は



津島大橋

随分近くなった。さらに、昭和40年国道改修に当たって新しいトンネル307.5m、幅員8mが開通し、一層便利になった。

④ 県道に編入された道路

○ 県道宿毛～津島線

この道は、岩松から岩淵を経て山財・清重を通過して御横に出、犬除～境～出井～宿毛に抜けるもので、昔から随分変遷のあった道である。今は沿線に馬ノ淵温泉・横吹溪谷・源池公園と風致に富んだ観光資源があり、将来大いに発展・利用されるものと期待されている。

○ 城辺～宇和島線

昔の御巡見街道で、野井～岩淵～増穂を通過して上横に至り、小岩道を経て緑僧都に出る道で、町内を横断するものである。

○ 下畑地～御内線

御内の犬除から松田川をさかのぼって横川、上横に出、それから山あいをぬって松柱～佐新田～馬ノ駄場～緑田に下りて保場川に出、国道56号線に合する町内環状線であって、これが完成すると観光に役立つものである。

○ 嵐～田ノ浜～岩松線

海岸回りの線で、下灘の嵐～鼠鳴～泥目水～田風～脇～田ノ浜を通り、北灘南部の小日堤～大日堤を通過して玉ヶ月～岩松へと出るものである。